



イラスト/田原ウーコ 文・写真/陣内研治



新宮の海岸線沿いに約2kmに渡って広がる松林。遊歩道も整備され、地元の人々の散策やジョギングロードとして利用される。「変わり松」や「OK松」、「麒麟松」などユニークな形の松が点在して散歩が楽しい。

●**橋の松原(たてのまつばら)**  
糟屋郡新宮町  
☎092-962-0238(新宮町役場産業振興課)  
(西鉄新宮駅より徒歩5分)

全国的に有名な海産物加工の店。「干物は素材が命だから、丸々と肥えた魚を使います」と4代目の進藤美奈子さん。季節や脂の乗りを見て塩加減するなど丁寧に手作業で行う。一番人気の銀だらみりん(630円〜)のほか、鯖の燻製(785円)も人気。

●**進藤商店**  
糟屋郡新宮町新宮102  
☎092-962-2222  
(西鉄新宮駅より徒歩7分)



フランス菓子を基本に、スウェーデンやドイツの伝統的な菓子もそろそろ。一押しはチョコとキャラメルの層を、五線譜に見立てたカノン(320円)。シュークリームはプレーン(126円)のほか星野村の抹茶を使った抹茶味(150円)も。

●**お菓子のアトリエ カノン**  
福岡市東区三苦6-14-2  
☎092-607-3320  
(三苦駅より徒歩6分)



フェアトレードのコーヒー豆を自家焙煎するカフェ。コーヒーはすべてオーガニック。美和台で33年間親しまれた洋菓子店「ロアール」のケーキのレシピを受け継いだスイーツもファンが多い。カフェラテ(450円)、焼きドーナツ(140円〜)。

●**POP COFFEES**  
福岡市東区美和台4-6-2  
☎092-605-0155  
(三苦駅より徒歩1分)



三苦のサーフカルチャーを牽引してきた店。福岡随一の品揃えを誇る、日本のサーフボードブランド(ジャスティス)のボードから、ビーチ向けの各種アイテムまでバラエティ豊富。海のルールから波に乗るステップまで学べる体験スクール(5,000円)も毎日開催。

●**レイディックス フクオカ**  
福岡市東区三苦5-4-30  
☎092-607-6937  
(三苦駅より徒歩6分)



2011年、三苦駅前オープンしたニンニクを使わない唐揚げの専門店。油にこだわり、鹿児島・持留製油の油に胡麻油をブレンド。人気のもも(390円/250g)は塩・甘辛ダレなど5種類の味付け。さっぱりとした胸肉(380円)も人気。

●**からあげ鶏好(とりよし)**  
福岡市東区美和台3-4-7  
☎092-607-5803 (三苦駅すぐ)



2011年オープン。相島で獲れたサワラのすり身のかまぼこ「ボタ」を使ったボタバん(160円)が名物。フランス産の小麦と塩を使ったバゲット(250円)もおすすめ。

●**お菓子のアトリエ カノン**  
糟屋郡新宮町下府5-6-37  
☎092-986-9197(火・水曜定休)  
(西鉄新宮駅すぐ)

最終回

## 三苦駅

# 西鉄新宮駅

みとまえきにしてつしんぐうえき

いよいよ西鉄貝塚線終着駅にやってきました！路線も今までの博多湾沿いから玄界灘沿岸部へと移り、今回の三苦駅と西鉄新宮駅周辺は、どちらも白砂青松の美しい海岸に面した街。玄界灘が育んだオンリーワンの名物に出会える予感大です。

駅×モ

**三苦駅**  
【キロ程】貝塚駅より9km  
【平均乗降者数】3,222人 / 1日

**西鉄新宮駅**  
【キロ程】貝塚駅より11km  
【平均乗降者数】1,320人 / 1日

三苦駅・西鉄新宮駅周辺の情報はココでチェック!  
タウンライターが沿線の情報をお届け!

西鉄沿線 web  
http://www.ensen24.jp/

海岸には、海産物加工工場が並び、その中の「進藤商店」を訪ねました。創業103年。水産加工品の品評会で幾つもの日本一に輝いた商品があるという、文句なしの名物店です。人気の「銀だらみりん」は、身の奥まで味が染み、ふわっとした食感がもったまりません！新宮の風土から生まれた、一夜干しの芸術品です。

帰りは、干物を手みやげに、新宮海岸の「橋の松原」を抜けて駅へ向かいました。松林の中には、風の悪戯なのか、不思議な形に育った松がいくつもあり楽しめます。玄界灘もそろそろ秋の海。新宮海水浴場もいつもの静かな浜に戻り、散歩にもいい季節。西鉄沿線には、まだまだ多くの自然や文化、美味しい物がたくさんあります。皆さんもぜひ、西鉄電車に乗って名物探しの旅へお出かけください!!

次はいよいよ西鉄貝塚線終着駅・西鉄新宮駅を目指します。以前は西鉄当地岳線として津屋崎まで路線が伸びていましたが、平成19年に一部区間(西鉄新宮駅〜津屋崎駅)が営業廃止となり、現在はここが終着駅となりました。

西鉄新宮駅から西側には細い通りに昔ながらの漁師町の風情が残っています。

海岸散歩の後、駅と海岸の途中にある洋菓子店「お菓子のアトリエカノン」へ立ち寄りしました。店主・安藤知幸さんは、小郡の洋菓子店「レブ・ド・ベ」で腕をふるった経験を持つ方。「シュークリームは、小さなお子さまが食べて満足できるギリギリの甘さに抑えています」と安藤さん。18年前に三苦にお店を開いて以来、今も変わらず人気のケーキ屋さんでした。

三苦駅周辺は、玄界灘に面したエリアで、この辺りの海岸はサーフ・スポーツとしても知られています。20年程前からサーファーたちの拠点として親しまれている「レイディックス」の古賀政信さんによると、三苦周辺にはいい波を求めて移り住んできたサーファーたちも多く、定期的に地元の人と一体となり浜辺の清掃活動を行っているのだとか。その甲斐もあって、最近ではウミガメが浜に産卵に来ることもあるのだそうです！引き潮になり、広くなった砂浜を歩いて行くと、海岸の北端、綿津見神社の下あたりに岩礁がありました。ここではよく磯遊びを楽しむ姿も見られます。